指導者のための情報紙
URL» http://www.saitama-sports.or.jp/junior_club/
スポーツともだち仲間たち No.45
発行：公益財団法人埼玉県体育協会 埼玉県スポーツ少年団　〒362-0031 上尾市東町 3-1679　スポーツ総合センター

回覧 指導者・母集団

この情報紙は各単位団へ3部配布しています。指導者・母集団に回覧しましょう。

平成２９年度埼玉県スポーツ少年団代議員会

～スポーツ少年団の未来へ向けた指針「育てよう！スポーツで子どもの心と体」を発表～

平成29年度埼玉県スポーツ少年団代議員会が６月10日(土)、スポーツ総合センター講堂において開催され、平成28年度事業報告並びに決算、平成29年度事業計画並びに予算について報告されました。

会議の冒頭、佐藤本部長は「埼玉県スポーツ少年団は、今年で創立55周年を迎えた。登録状況のほか組織体制や活動内容も充実してきた。そうした中で、現在も様々な課題がある。そこで、平成29年度は団員増加に向けた積極的な対策、指導者及び育成母集団の資質向上、暴力行為の根絶、地域への貢献など、課題解決へ向けた取り組みを推進していくことが求められている。代議員の方々をはじめ、市町村の皆さんの理解と協力をいただきたい」と挨拶しました。

また、スポーツ少年団登録者処分基準の運用に関する件についても審議され、埼玉県スポーツ少年団規程を一部改訂し、「倫理委員会」を設置することが承認されました。これを受けて、同委員会の規程や委員構成等については今後、本部員会で引き続き検討していくことになりました。

なお、報告事項の中で、子どもとスポーツの未来を考えるプロジェクトから、２年間に及ぶ検討・協議を経てまとめられたスポーツ少年団の未来へ向けた指針「育てよう！スポーツで子どもの心と体」(７章立てで構成された冊子)の概要と今後の活用などについての報告が行われました(詳細は２ページに掲載)。

▲ 代議員会の様子

東日本大震災復興祈念事業

この事業は、東日本大震災後、自由に外遊びやスポーツ活動をすることができない子どもたちに、本県スポーツ少年団とスポーツ交流や外遊びを満喫してもらい、本来子どもたちが持っている笑顔の力で一日でも早い被災地の復興を祈念することを目的として実施されているもので、今年で６回目を迎えます。引き続き指導者の皆さんのご理解と応援をお願いします。概要は次のとおりです。

期　日：８月５日(土)～７日(月)２泊３日
会　場：スポーツ総合センター
参加者：指導者、団員(原則として小学校４～６年生)
※福島県と埼玉県の参加者は共に指導者10人、団員80人の予定。全員が同センター宿泊棟に宿泊。

▲ 昨年の交流風景

スポーツくじ toto BIG
本紙はスポーツ振興くじ助成金を受けて作成しています。

スポーツ少年団の未来へ向けた指針

「育てよう！スポーツで 子どもの心と体」を策定

埼玉県スポーツ少年団では団員減少問題、競技の過熱化、活動内容や活動環境、指導者の資質・モラルの低下、保護者の価値観の多様化などの様々な課題がありますが、それらの課題に対して、どのような手立て、方法で解決を図るべきか、未来へ向けた、これからの埼玉県スポーツ少年団の重要なテーマとなっています。その課題解決を図るために単位団をはじめ市町村本部、埼玉県本部の総合的な取り組みと指導者・保護者のスキルアップを目指した取り組みが必要であり、スポーツ少年団活動のみならず子どもを取り巻く環境などを鑑み10年後、20年後を展望して教育的な広い見地からスポーツ少年団の発展と活動の更なる充実を図るため、平成27年７月に「子どもとスポーツの未来を考えるプロジェクト」を設置し、２年間にわたり延べ14回の会議を開いて協議・検討を重ねてきました。

そして、このほどまとめられた「育てよう！スポーツで　子どもの心と体」は、その協議・検討の結果を集約したもので、スポーツ少年団の未来へ向けた指針です。

この冊子は、７章立てで構成されています。

第１章　スポーツの意義
第２章　埼玉県スポーツ少年団の誕生から今日まで
第３章　埼玉県スポーツ少年団の現状
第４章　埼玉県スポーツ少年団の課題
第５章　望ましいスポーツ少年団活動(具体的な事例から)
第６章　埼玉県スポーツ少年団からの提案と単位団の活動目標
第７章　子どもとスポーツの未来へ向けて

第１章では、スポーツの意義。第２章では埼玉県スポーツ少年団の誕生から今日まで。第３章では、埼玉県スポーツ少年団の現状。第４章では埼玉県スポーツ少年団の課題。第５章では、望ましいスポーツ少年団活動。この章では１つ目に魅力ある活動プログラム、２つ目に充実した指導体制。３つ目に単位団活動と母集団活動。４つ目に地域行事への参加と協力、５つ目に国内・国際交流活動の５項目に分け、県内で取り組まれている具体的な実践事例を挙げています。第６章では、埼玉県スポーツ少年団からの提案。この章では、埼玉県スポーツ少年団のキャッチフレーズとして「育てよう！スポーツで子どもの心と体」を示し、市町村本部、指導者、単位団で、ぜひ取り組んでいただきたいことを具体的に挙げています。

第７章では子どもとスポーツの未来に向けて。この章ではスポーツ少年団の理念に立ち返り、地域社会に根ざした活動となり、指導者・育成母集団が手を取り合い、力を合わせて、スポーツで子どもの心と体を育てることを訴えています。

この冊子がスポーツ少年団関係者はもとより、多くの県民の皆様に読んでいただけることを願うとともに、スポーツの楽しさや仲間づくりの素晴らしさが、大きな波紋となって広がっていくことを願っています。

指導者の皆様にはぜひご一読され、ご意見をお寄せいただきたいと思います。

なお、このほど、スポーツ少年団指導者や育成母集団の研修会に役立つパワーポイントの試作品を作成しました。今後、内容を精査し、充実させたうえで本部員会に報告・了承を経て、11月のブロック本部長会議で完成版を配布したいと考えています。

〔子どもとスポーツの未来を考える　プロジェクト委員名〕

座　長	清水岩夫	鴻巣市スポーツ少年団本部長
		埼玉県スポーツ少年団本部員
副座長	棚沢絹江	熊谷市スポーツ少年団本部長
		埼玉県スポーツ少年団本部員
委　員	田中一光	川口市スポーツ少年団副本部長
		埼玉県スポーツ少年団本部員
委　員	長谷川司	さいたま市スポーツ少年団副本部長
		埼玉県スポーツ少年団本部員
委　員	佐藤高弘	埼玉県スポーツ少年団本部長
委　員	岡野栄二	前上尾市教育委員会教育長
		埼玉県スポーツ少年団本部員
委　員	川上　彰	前鴻巣市教育委員会教育長

“頑張ってます、リーダー会”

平成２９年度埼玉県スポーツ少年団 リーダー会の活動概要

会長より一言

こんにちは！埼玉県スポーツ少年団リーダー会29年度会長の岩男和樹です。

私は今年で活動は４年目になります。４年間を通して、とてもたくさんのことを学び、たくさんの楽しい時間を過ごすことができました。現在単位団で登録、活動を続けている人たちは、ぜひ埼玉県スポーツ少年団リーダー会に入り、ともに活動していきましょう！大学生だって遅いなんてことはありません！

また、各単位団の指導者や、保護者の皆様には、ぜひこのリーダー会活動にご理解とご協力をいただきたいと思っております。宜しくお願い致します。

もしリーダー活動についてもう少し詳しく知りたいということがあれば、埼玉県スポーツ少年団リーダー会のFacebookがありますので、ご覧いただければと思います！

平成29年度埼玉県スポーツ少年団リーダー会の構成

埼玉県のスポーツ少年団に所属する高校生から大学生の団員で構成された団体です。現在の会員数は、高校生12人、大学生11人の計23人で、県内13ほどの市町村から集まっています。８人の役員を中心に活動していきます。

役員メンバー

会長	岩男和樹（さいたま市）
副会長	牛山直実（宮代町） 武田昂平（上尾市）
会計	武田茜（さいたま市）
書記	中村柊人（さいたま市） 西川青葉（新座市）
理事	町田愛（飯能市） 宮前伽帆（白岡市）

平成29年度主な活動内容

リーダー会の活動は、基本的に県本部から依頼を受けた行事、各市町村本部から依頼を受けた行事、また、リーダー会が企画運営をすべて行う行事の三種類があります。どの行事も基本的には会議を重ねて当日に臨みます。

４月	・埼玉県スポーツ少年団リーダー会総会	10月	
５月	・スポーツフェア	11月	
６月	・蕨市ジュニアリーダースクール	12月	・交流交歓会（前期）
７月	・三郷市全団交流レク大会	１月	
８月	・東日本復興祈念大会 ・ジュニアリーダースクール	２月	・養成研修会
９月	・リーダー会BBQ企画	３月	・交流交歓会（後期）

《主な活動の紹介》

●埼玉県ジュニアリーダースクール

埼玉県内の中学1年生から3年生の団員を対象としたスクーリングで、単位団の枠を超えて集まり、3泊4日の日程で行われます。講義や班活動、係活動などの実践活動を通して、「リーダー」としての在り方を学びます。私たち埼玉県リーダー会では、班付きリーダーとして、受講生たちの学びをサポートしています。身近なリーダーの手本となれるよう、緊張感を持って取り組んでいます。

●交流交歓会

この行事は、企画、運営をすべてリーダー会だけで行います。中学生を対象にしたり、高校生以上のリーダー会員を対象にしたり、また、レクリエーションを行ったり、野外活動を行ったりと、とにかく自由に行事を企画しています。ちなみに、今年度は２回行う予定ですので、興味があればぜひご参加ください！後日、各市町村本部に通知を送付させていただきます。

その他にも、今年度は、７月28日に行われる競技別交流大会の開会式や、11月23日の蕨市親子運動会にもスタッフとして参加させていただきます。

私たちは、今後も広く活動していきたいと思っています。リーダー会への入会、交流交歓会などの行事への参加、行事依頼など、いつでも歓迎しています！

▲ ジュニアリーダースクール【班活動】

第２２回　スポーツ少年団指導者全国研究大会

～子どもたちを育むスポーツ環境を考える～

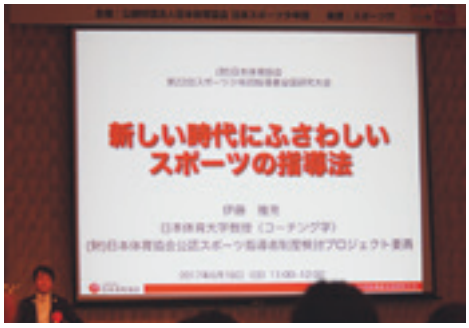
平成29年６月18日(日)
ホテル「グランドパレス」

今回で22回目のスポーツ少年団指導者全国研究大会が、指導者の資質の向上を図り、ジュニアスポーツに対する望ましい指導体制を確立することを目的に「子どもたちを育むスポーツ環境を考える」をテーマに開催されました。参加者は、現在ジュニアスポーツの指導に直接従事している登録指導者を対象としています。全国から約400名の指導者が集まり、埼玉県から25名の指導者が参加し、それぞれの分科会において研究協議に臨みました。

開会式の後、日本体育大学体育学部体育学科教授の伊藤雅充(いとうまさみつ)氏から「新しい時代にふさわしいスポーツの指導法」と題した特別講演が行われました。

講師の質問に対して、会場内の参加者のスマートフォンでインターネット経由の意見が表示され、それに沿って講義が進められました。「指導者は、単なる過去の繰り返しではなく新しいものに進化していかなければならない。そして指導者もつねに学び、子どものやる気を引き出すことが大事である」という内容でした。

昼食休憩をはさみ午後から４分科会でそれぞれのテーマで協議が行われました。



「Ａ分科会」

「新しい時代にふさわしい(育成母集団の姿)を考える」

座長　伊東　秀志(指導者協議会運営委員長)

パネリスト

畑山　幸代(秋田県スポーツ少年団)

三和　郁子(滋賀県スポーツ少年団)

吉田　繁敬(愛知県スポーツ少年団)

人口減少が進む地域で、育成母集団にこだわらず他団体との連携・支援を考えなければならない。育成母集団を中心に、団員・リーダー・指導者が協力し、人々が集う場所として地域づくりにも大きな役割を果たすことができるスポーツ少年団を目指していきたい。

「Ｂ分科会」

「オリンピック・ムーブメントの理解を深め、国際交流活動をリーダー育成に活かす」

座長　佐藤　充宏（徳島大学大学院教授）

パネリスト

大久保香織(玉串リーダー会スポーツ少年団)

冨田　寿人（静岡理工科大学教授）

桝本　直文（首都大学東京教授）

スポーツ少年団の創設に大きな影響を与えた、オリンピック・ムーブメントについて、日本スポーツ少年団が実施する国際交流活動の意義を再確認し、異文化に触れ学びや体験からリーダーとしての自覚を促し指導者としての成長を願う。

「Ｃ分科会」

「スポーツ指導における暴力発生メカニズムについて考える」

座長　杉山　康司（静岡大学教育学部教授）

パネリスト

上野和香子（NPO法人　とうまスポーツクラブ）

南部さおり（日本体育大学）

矢野　宏光（高知大学教授）

実際にスポーツ現場で指導者がなぜ暴力行為等の各種ハラスメントに及んでしまうのか、スポーツ指導における暴力発生のメカニズムおよび内発的予防ができるためにどう取り組むか、フロアとパネリストで新しい時代にふさわしい指導者像や指導方法を考える。

「Ｄ分科会」

「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会とスポーツ少年団」

座長　武隈　晃（鹿児島大学副学長）

パネリスト

荒川　元邦（東京都教育庁指導部）

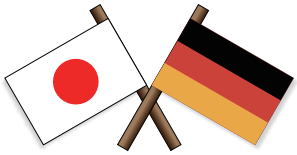
飯塚　鉄雄（首都大学東京・志学館大学名誉教授）

米谷　正造（川崎医療福祉大学教授）

少年団創設時からの哲理や理念の再認識やオリンピック・パラリンピックの青少年に対する教育的意義を考え、スポーツ少年団の重要性を共有する。

４分科会では、フロアとパネリストで活発な意見が交わされました。

参加された指導者のみなさん、一日がかりの研究協議お疲れ様でした。それぞれの地元に持ち帰り、今後の指導活動に役立てていただきたいと思います。



第４４回日独スポーツ少年団同時交流

～団員３人を派遣、宮代町は２回目の受け入れ～

日独同時交流は、公益財団法人日本体育協会日本スポーツ少年団とドイツスポーツユーゲントとの協定に基づいて、1974年（昭和49）から毎年夏休み期間中に行われている事業で、今年で44回目を迎えました。埼玉県の今回の派遣者は３人。宮代町には平成19年度に続き２回目の受け入れを引き受けていただきました。

なお、来年の受け入れ市町村が現時点でまだ決まっていません。準備期間が少なくなってきましたが、検討のうえ受け入れが可能と思われる市町村がありましたら事務局までぜひご連絡ください。

▲ 昨年の坂戸市での交流風景

派遣

＊期間／７月31日（月）～８月17日（木）

＊場所／ドイツ連邦共和国
　　ヘッセン州

＊派遣団員（関東Ⅱグループ）

神屋智希（こうやともき）　男　20歳（大学３年）
　　戸田市戸田二サッカースポーツ少年団

冨川顕也（とみかわけんや）　男　20歳（大学３年）
　　所沢市山口サッカースポーツ少年団

和田杏菜（わだあんな）　女　17歳（高校３年）
　　宮代町宮代剣友会スポーツ少年団

受け入れ

＊期間／７月24日（月）～７月31日（月）７泊８日

＊場所／宮代町

＊主な受け入れプログラム

７／24　対面式、ウエルカムパーティー

７／25　弓道・書道の体験

７／26　小旅行（谷川岳）、和紙作り体験（群馬県匠の郷）

７／27　表敬訪問（町長、教育長、議長）、日本工業大学見学、ディスカッション

７／28　春日部高校部活動体験、大宮駅周辺散策

７／29　ホストファミリーデイ（終日）

７／30　スポーツフェスティバル、サヨナラパーティー

７／31　次の受け入れ地（茨城県牛久市）へ移動

『子どもたちのための母集団活動』
～愛（合い）・こ・と・ば～

一　わたくしたちは　スポーツをとおして　心身ともに健やかな団員育成のため　活動します。
一　わたくしたちは　全ての団員を思いやり　支え励ましながら　活動します。
一　わたくしたちは　団員とともに　フェアプレイを尊重し　活動します。
一　わたくしたちは　自らもスポーツに親しみ　明るく楽しく　活動します。
一　わたくしたちは　指導者と連携し　地域に認められるスポーツ少年団となるよう　活動します。

育成母集団活動の紹介

熊谷東サッカースポーツ少年団

暑さ対策日本一を目指す熊谷市で、創立33年を迎える熊谷東サッカースポーツ少年団の主な育成母集団活動を紹介します。

サッカーを通じて心身の健全育成を図る活動はもちろんのこと、年間行事として、競技以外の活動を計画・実践しています。

年数回、活動拠点の久下荒川緑地グラウンド周辺を、団員・指導者・保護者全員がゴミ袋を持ってゴミ拾いや草むしりをします。もう一つの活動場所である佐谷田小学校のサッカーゴールのペンキ塗りは夏休み中の早朝に行います。最初にブラシでさびを落としてからペンキを塗ります。数時間後、ペンキが乾いたのち、ゴールを元に戻します。日頃使わせて頂いている感謝を込めて…。

夏の合宿では、日常生活では味わえない異学年との班行動を通じて規律を守ることの大切さ、他人への思いやり、連帯感、達成感等を学びます。お父さんお母さん達も、親子サッカーや川での魚取り、ホタル観賞、キャンプファイヤーなどに参加して、子ども達や指導者達との親睦を深めています。

秋には地区の運動会に参加します。チームユニフォームを着用してパレードやリレーに出場し、地域の人々へのPR活動の場となっています。

冬休み前にはクリスマス会。各自プレゼントを持参し、みんな（一同）が輪になって交換会が始まります。母集団が用意したお菓子のプレゼントもあります。

今年度の育成母集団会長の篠田沙織さんは「子どもが少年団に入ってから大変なこともあるけれど、他の小学校の人達と知り合えましたし、先輩ママ達から子育ての悩みを聞いてもらったり、情報交換もできたりして世界が広がりました。子どもと一緒に過ごす時間もあとわずか…。かけがえのないこの時期をめいっぱい楽しもうと思います。地域の人たちにスポーツ少年団をもっと知っていただき、一人でも多くの子ども達が入団してくれることを願っています」と話してくれました。

熊谷東サッカースポーツ少年団

- **設立**／1985年（昭和60）9月1日
- **活動場所**／久下荒川緑地グラウンド、佐谷田小学校
- **団活動**／土・日曜日9：00～12：00
  ※低学年は土曜日のみ
- **団員数**／40人（男：39人　女：1人）
- **指導者数**／17人（男：16人　女：1人）
- **資格指導者数**／13人（認定員：12人　育成員：1人）
- **母集団設置年度**／1986年（昭和61）4月1日
- **母集団会員数**／48人（男：18人　女：30人）
- **団での母集団の主な役割**／団活動の目的達成のための支援、団員の活動場所の確保、団活動に必要な用器具の準備や整備、広報活動、会員相互の親睦とスポーツ交流　等

▲ クリスマス会

▲ ゴミ拾い

少年団活動の安全を！

日ごろの団活動の運営にあたり、様々なリスクを想定した安全対策を講じることが大変重要です。指導者の皆さんの日々の的確な判断を期待します。

1　雷

雷雲は10分ぐらいで急成長し、高速で移動します。グラウンドに落雷する確率は低いと思われますが、雷鳴・雷光を認識したら、早めに中断して屋内へ避難して安全を確保してください（テント内は、金属に落雷の危険があります）。

〈埼玉県スポーツ科学委員会発行の「落雷事故対策マニュアル」を参照〉

2　ゲリラ豪雨

近年天気の不安定により、ゲリラ豪雨の被害の報道をよく目にすることがあると思います。キャンプなどの際、川の上流での降雨の状況により、急な河川の増水が考えられます。そうした場合、気象情報や川の流れに注意し、安全を確保してください。

3　強風（つむじ風）

大会運営や大会に参加の時、暑さ対策としてテントを張ることが多いと思います。気温が高くなると地面が熱せられ、つむじ風が発生しやすくなります（先日、テレビニュースでテントが舞い上がり怪我をしたという報道がありました）。風が強くなった時（強風が吹いている時）は、テントの足を固定するかテントを設営しないなど、状況に応じた事故防止の対応をしてください。

4　熱中症

熱中症は、野外のみならず屋内でも発生することがあります。予防のため、子どもたちにこまめに水分を摂らせてください。

種目別大会結果

第14回全国スポーツ少年団 バレーボール交流大会

平成29年３月25日（土）～ 28日（火）の３泊４日の日程で、全国スポーツ少年団バレーボール交流大会が福井県において開催され、本県からは女子の部にさいたま市の岩槻ジュニアバレーボールスポーツ少年団が出場しました。成績は次のとおりです。

■１日目〔３チーム予選リーグ戦、シード決定戦〕

第１試合　岩槻　２－０　飯山女子（香川県）
第２試合　岩槻　２－０　加茂ジュニア（新潟県）

２日目のシード決定戦

岩槻　０－２　木崎野小（青森県）

■２日目〔３チーム予選リーグ戦、決勝トーナメント戦出場チーム決定戦〕

第１試合　岩槻　２－１　小方（広島県）
第２試合　岩槻　２－０　堀川（富山県）

決勝トーナメント戦出場チーム決定戦

岩槻　０－２　大曲（秋田県）

県民総合体育大会 第36回埼玉県スポーツ少年団 夏季小学生軟式野球交流大会

平成29年６月４日（日）・11（日）・18日（日）
春日部市大沼公園野球場ほか

■決勝戦（６月18日）

上平野球（上尾市）　10－1　戸塚ジャガーズ（川口市）

※優勝した上平野球スポーツ少年団は、７月28日から埼玉県で開催される第36回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会へ出場。

第36回関東ブロックスポーツ少年団 バレーボール交流大会埼玉県大会

平成29年６月18日（日）・25日（日）
川越運動公園総合体育館・深谷市総合体育館

■女子決勝戦

上尾クラブ（上尾市）　２－１　宮原ジュニア（さいたま市）

■男子決勝戦

岩槻マイティーズ（さいたま市）　２－１　アゼレアジュニア（坂戸市）

■男女混合決勝戦

西公民館ジュニア（川口市）　２－０　鴻巣南ジュニア（鴻巣市）

※優勝した３チームは、８月７日から東京都で開催される全国大会へ出場。また、女子の部の上尾クラブと宮原ジュニアの２チームは、７月28日から埼玉県で開催される第36回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会へ出場（関ブロ大会のバレーボール競技は女子の部以外の設定はなし）。

第36回埼玉県スポーツ少年団 ミニバスケットボール交流大会

平成29年７月１日（土）・２日（日）
越谷市立総合体育館

■男子１位グループ

１位　宗岡ミニバス（志木市）
２位　戸田ミニバス（戸田市）
３位　坂戸ロケッツ（坂戸市）
４位　リベルタ（入間市）

■女子１位グループ

１位　川口じりんＭＢＣ（川口市）
２位　鳩ケ谷桜ミニバス（川口市）
３位　宮本シャインズ（越谷市）
４位　大宮中川ミニバス（さいたま市）

※優勝した男女各１位のチームは、７月28日から埼玉県で開催される第36回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会へ出場。

公益財団法人埼玉県体育協会　キャッチフレーズ

まず参加　たのしくスポーツ　みんなが主役

スポーツリーダー養成講習会兼スポーツ少年団認定員養成講習会

《これからの開催予定》

■８月26日（土）・27日（日）
川口市 150名　深谷市 50名

■９月２日（土）・３日（日）
さいたま市 150名　鶴ヶ島市 30名

■９月９日（土）・10日（日）
上尾市 80名

■10月21日（土）・22日（日）
熊谷市 80名

■10月28日（土）・29日（日）
埼玉県スポーツ少年団本部 150名

■11月４日（土）・５日（日）
さいたま市 150名

■11月11日（土）・12日（日）
本庄市 70名

■11月12日（日）・18日（土）
戸田市 50名

■12月９日（土）・10日（日）
飯能市 30名

■12月10日（日）・17日（日）
春日部市 100名

■12月16日（土）・17日（日）
所沢市 80名

■１月13日（土）・14日（日）
鴻巣市 90名

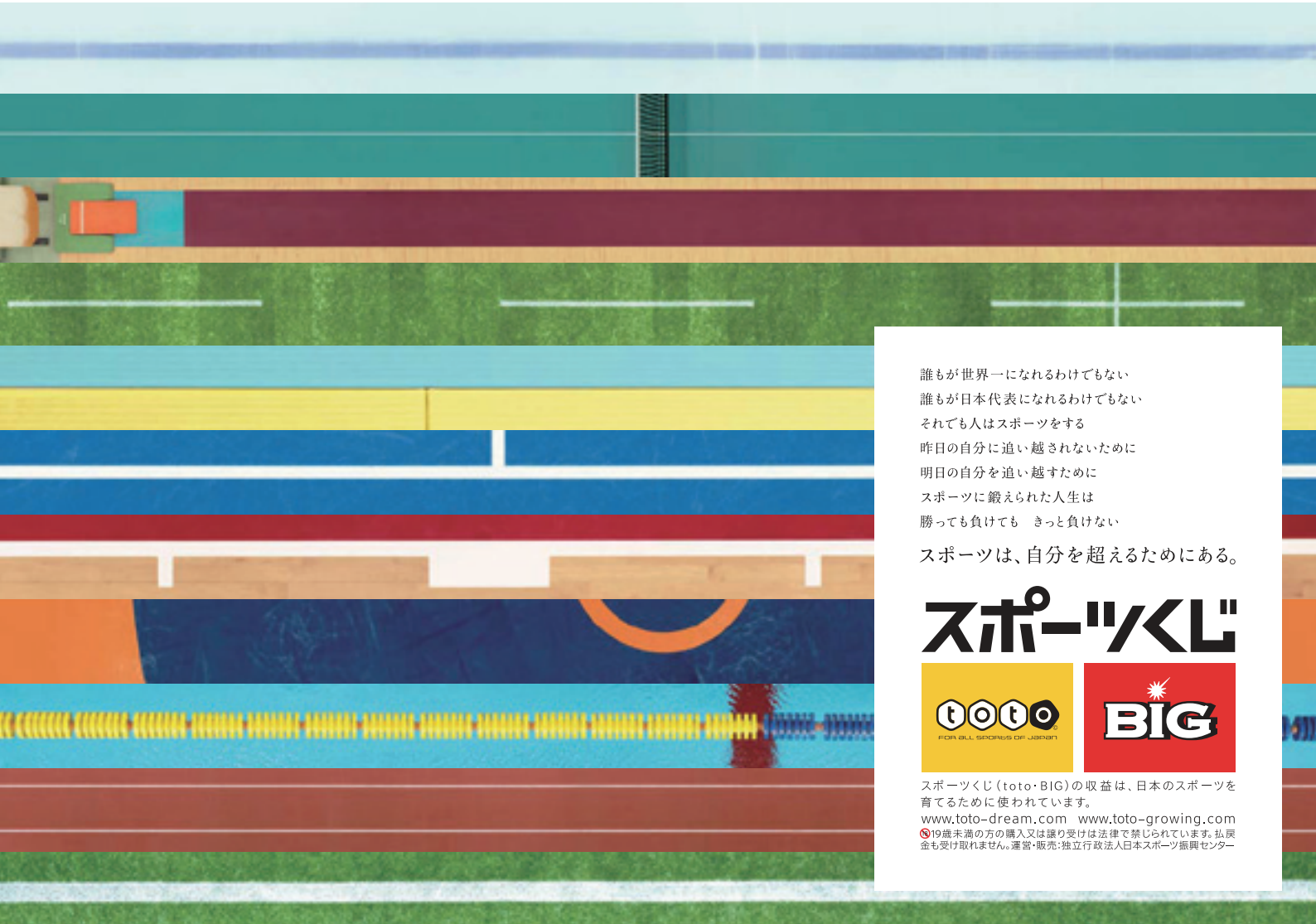
■１月20日（土）・21日（日）
東松山市 100名

■２月３日（土）・４日（日）
白岡市 100名

■２月４日（日）・11日（日）
久喜市 100名

※人数に限りがあります。受講を希望されるときは、所属市町村本部を通じて開催地本部へお問い合わせください。

編集後記

最近また、スポーツ現場での暴力行為が報道されてしまいました。大変残念です。今年の指導者全国研究大会でも、暴力行為根絶について活発な論議がなされました。県本部では倫理委員会を設置してスポーツ少年団登録者処分基準を運用していく準備を進めています。私たち指導者は、子どもたちの未来に向けて安全で楽しく、熱意のある指導を行いたいものです。この新たな委員会を開くことのないように留意して…。

埼玉県スポーツ少年団　企画広報委員会
TEL：048-779-5895　FAX：048-774-5550
E-mail：saitamaken@japan-sports.or.jp